

「青少年のための科学の祭典」2009 全国大会で研修会を開催



科学の祭典開催

お待たせしました。

どうぞ、順番に入場してください。

2009(平成 21)年7月 31 日(金)から8月2日(日)の3日間、科学技術館にて第 18 回目となる「青少年のための科学の祭典」2009 全国大会を開催しました。今年は、7月 31 日を研修会の日として、出展者と全国の教育関係者に対する研修を目的として実施しました。8月1日と2日は、一般来場者を対象とした科学実験体験イベントを実施しました。研修会に参加した人は 1,554 名、一般の来場者は 18,400 名でした。

●研修会

今回、初めての試みとして、全国大会開催期間の初日に出展者および全国の教育関係者の方々を対象とした研修会を実施しました。これは、さらに多くの青少年に優れた科学実験体験をしてもらうために、指導する側の方々のスキル向上を目指すために実施したものです。研修会の内容は以下の通りです。

第1部 安全講習会 「理科実験を安全に実施するために」

『「青少年のための科学の祭典」での事故ゼロを目指して』と題して、全国大会の実行委員による安全講習会を実施しました。全国大会は、過去 17 年間の大会運営の実績があり、全国大会で今まで積み上げてきた安全に対する実行委員の取り組みと、事故事例とその原因の紹介、来場者への注意の促し方、そして安全に対する出展者としての心構えなどについて説明を行いました。参加した方々からは、安全に対する再認識をしたとか、地域の科学の祭典の中でも活かしていきたいなどの意見をいただきました。

第2部 出展内容の演説・視察(出展者を2グループに分けて交代で見学研修)

出展者の方々を前半と後半の2グループに分けて、相互に交代で出展内容を視察してもらうこととしました。各出展者の方は、全体の少なくとも半分の出展ブースを見ることができました。今までは実験などを体験する主役は子どもたちだったので、大人の方が体験をすることができませんでした。今回は出展者の方も教育関係者の方も十分に出展内容を体験していただくことができました。また、研修会参加者の皆さんが出展者の方とゆっくり話しをすることができました。

第3部 意見交換会

出展者の方々を物理分野、化学分野、その他の分野に分けて、分野毎に集まっていたいただき、実行委員の進行で出展者の中から代表の方に、自分の出展内容の創意工夫や、苦労談などを話していただきながら意見交換を行いました。

参加者からの声

- ・安全講習会の内容を、地元の科学教室の講師たちと再度勉強したい。
- ・各講師の工夫が聞けてよかった。
- ・来年も参加したいと思います。来年はほかの教員も連れてきます。



安全講習会

出展者の方々も真剣に聞いていました。



出展内容の演説・視察

出展者も視察側となり、疑問点を他の出展者の方に質問していた。



意見交換会

出展者の代表の方からの説明を主に意見交換を行った。